

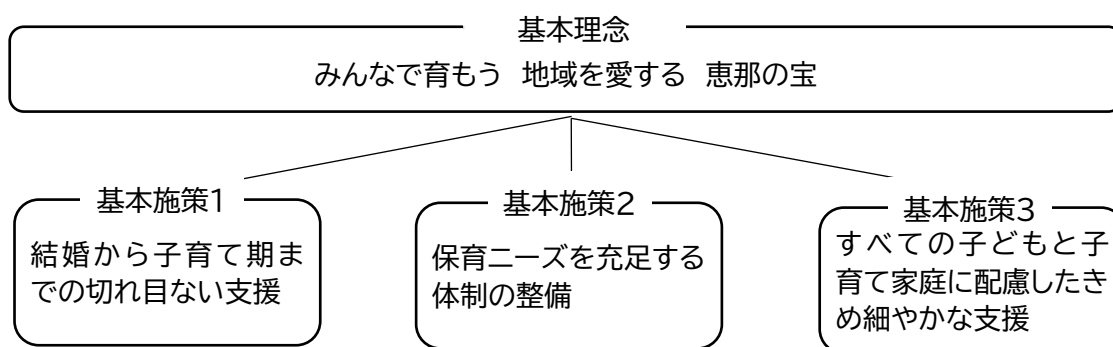
第2期恵那市子ども・子育て支援事業計画
（令和 2 年度～令和 6 年度）
計画の進行管理と実施状況の報告について

1. 趣 旨

- ・本計画では、近年の社会潮流や恵那市の子どもを取り巻く現状、今後の幼児期の教育・保育や地域子ども・子育て支援事業を計画的に確保するためのものです。さらに、次世代育成支援や母子保健等、恵那市の子どもと保護者を対象とした施策の基本的な方向性を定めるために作成しています。
- ・第 2 期計画期間の終了に伴い、量の見込みと確保方策、目標等についての実績をとりまとめました。計画の進行管理と実施状況の点検のため、恵那市子ども・子育て会議にて報告します。

2. 第 2 期計画の概要

家庭をはじめ、地域、こども園、保育所、幼稚園、学校、企業、病院、市等多様な主体が連携し、協働することで地域が一体となって子ども・子育てを支援し、子どもが誰一人取り残されることなく、一人ひとりが未来に夢と希望を持つことができる恵那市を目指し、基本理念と基本施策を設定。



3. 計画の進行管理と実施状況の報告

■教育・保育事業

【概要】

子どもの年齢と保育の必要性に応じて、次の認定区分に分けて支援を行っています。

3～5歳児については、保育の必要がない場合は「1号認定」として教育を提供し、保育が必要な場合は「2号認定」として認定こども園や保育所で保育を行います。

0～2歳児については、いずれも保育の必要があるため、「3号認定」として保育所等で保育を受けることができます。

このように、各家庭の状況に応じた柔軟な支援を提供し、子ども一人ひとりの成長を支援しています。

【実績】

- ・3歳未満児の保育需要に対応するため、認可小規模保育所の開園に伴う、運営支援を行いました。
- ・市街地を中心とした3歳未満児の保育需要に対応するため、私立幼稚園の認定こども園化に向けた調整を行いました。
- ・価値観の多様化と子どもを取り巻く環境の変化に伴い、こども園における保育には、市内のどの地域においても同一かつ質の高い幼児教育・保育が求められます。ICTを活用した保育教材アプリケーションにより、すべての公立こども園における学ぶ力の育成に務めました。

【本市に居住する就学前児童の教育・保育事業計画と実績】

単位：人

区 分		H31	R2	R3	R4	R5	R6
3～5歳【1号認定】 ※保育の必要性なし	計画	360	293	278	309	309	308
	実績	405	315	292	258	236	201
3～5歳【2号認定】 ※保育の必要とする子ども	計画	810	701	677	622	623	621
	実績	661	683	675	680	651	623
0歳【3号認定】 ※保育の必要とする子ども	計画	37	42	42	32	31	30
	実績	36	26	32	30	33	20
1・2歳【3号認定】 ※保育の必要とする子ども	計画	214	257	259	241	235	230
	実績	246	249	241	238	245	246

■利用者支援事業

【概要】

子どもまたはその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じ相談・助言などを行うとともに、関係機関との連絡調整等を実施する事業です。

【実績】

- 母子保健機能と児童福祉機能を一体化したこども家庭センターを子育て支援課内に設置し、妊産婦から子育て世帯、子どもへの切れ目のない一体的支援を行いました。
- 中央出張所〈えなえ〜る〉において「ひよこっこ測定」やこども元気プラザにおいて「ねんね期ママのサロン」を実施し、保健師による母子相談を開始しました。
- 子育て情報をまとめたハンドブックを作成し、母子手帳交付時や、健診時、こども園の園児に配布しました。

【利用者支援事業の年度別量の計画と実績】

単位：か所

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
計画	1	1	1	1	1	1
実績	1	1	1	1	1	1

■地域子育て支援拠点事業**【概要】**

地域の子育て家庭を支援するため、こども元気プラザをはじめ、地域子育て支援センターで、子育てに関する情報提供、相談支援、親子の交流の場を提供する事業です。この事業では、子育て中の保護者が安心して相談できる環境を整え、育児の悩みや困りごとを解決するためのサポートを行います。また、親子で参加できるイベントや遊びの場も提供し、地域全体での子育て支援を促進します。

【実績】

- R4年度からこども元気プラザの利用時間について、月曜日の午後も開館し、午前9時～午後5時とし、月～土まで週6日開館に変更しました。
- 地域子育て支援センターの利用状況を把握し、実態に合わせて上矢作・岩村と・串原・明智を合同開催するなど開催頻度の調整を行いました。

【利用者支援事業の年度別量の計画と実績】

単位：延べ人数

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
計画	29,412	23,751	23,698	10,331	10,178	10,330
実績	21,018	6,080	8,054	10,336	13,025	13,845

■乳児家庭全戸訪問事業（赤ちゃん訪問）

【概要】

地域の全ての乳児を育てている家庭を対象に、助産師・保健師が直接家庭訪問を行い、育児に関する支援や相談を提供する事業です。この訪問により、保護者が抱える育児の悩みや不安を解消し、必要な支援を早期に把握・提供します。また、育児に関する情報提供や健康管理のサポートを行い、家庭での子育てが円滑に進むよう支援します。

【実績】

- ・全出生児を対象に生後2か月前後に助産師・保健師が家庭訪問を実施。産後の見通しをたてる機会とし、必要なサービスにつなげました。

【乳児家庭全戸訪問事業の年度別量の見込みと実績】

単位：人

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
計画	336	282	274	267	261	252
実績	240	223	228	217	163	165

■養育支援訪問事業

【概要】

育児に不安を感じている家庭や、特別な支援が必要な家庭に対して、保健師や助産師が家庭を訪問し、育児支援を行う事業です。訪問を通じて、子どもの発達や健康管理に関する助言を行うほか、保護者が抱える育児の悩みや困難に対するサポートを提供します。この事業は、家庭環境や子どもの状況に応じた個別の支援を行い、育児負担の軽減を図ることを目的としています。

【実績】

- ・妊娠届出時にリスクアセスメントを行い、産前産後の養育状況を確認。適宜訪問面談を実施し、サービスが利用できるよう環境を整えました。

【養育支援訪問事業の年度別量の計画と実績】

単位：延べ人数

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
計画	100	100	100	100	100	100
実績	70	23	23	138	187	97

■子育て短期支援事業

【概要】

児童を養育している家庭の保護者が疾病、仕事その他の理由により、家庭における児童の養育が一時的に困難になった場合等に、施設等で一時的に預かりをする事業です。この事業は、保護者の負担軽減と、家庭の状況に応じた柔軟な支援を通じて、子どもと保護者が健康で安定した生活を送れるよう支援します。

【実績】

- ・里親ショートステイを開始し、預かり先を増やすことができました。
- ・親子入所、親のレスパイト、入所期間の緩和等、利用しやすいよう、制度の改正を行いました。

【子育て短期支援事業の年度別量の計画と確保方策】

単位：人

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
計画	14	15	15	14	14	14
実績	0	0	7	6	5	8

■一時預かり事業

【概要】

保護者が急な用事や仕事の都合で子どもの一時的な預け先を必要とする場合に、地域の保育施設で子どもを一時的に預かるサービスです。これにより、保護者は安心して自分の時間を確保でき、子どもは安全な環境で過ごすことができます。通常、1 日単位や時間単位での預かりが可能で、柔軟な利用が可能のため、育児と仕事の両立を支援します。

【実績】

- ・未就園児を対象とした一時保育を、城ヶ丘こども園、武並こども園、山岡こども園で実施をしました。おさしま二葉こども園の利用実績は、R5年が 429 人、R6年が 189 人（延べ人数）でした。
- ・子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）の地域等への利用 PR 及び援助会員の確保に努めました。
- ・R4年度から実施した多子世帯（第3子以降の児童）減免によるファミリーサポートの利用者が増加の傾向にあります。
（第3子以降の利用 延べ 191 人）
- ・R6年4月より、ひとり親世帯のファミリー・サポート・センターの利用料を半額にしました。

【子育て短期支援事業の年度別量の計画と実績】

単位：延べ人数

		H31	R2	R3	R4	R5	R6
①幼稚園計画	在園児	39,572	7,901	7,590	5,751	5,757	5,739
①幼稚園実績	在園児	5,934	6,501	6,238	6,379	8,135	6,158
②その他 計画	未就園	1,277	1,267	1,239	1,196	1,182	1,165
	ファミサポ	801	616	603	582	575	567
	夜間養護	7	7	7	7	7	7
	計	2,085	1,890	1,849	1,785	1,764	1,739
②その他 実績	未就園	1,299	638	756	173	304	264
	ファミサポ	395	256	326	461	506	513
	夜間養護	0	0	0	7	0	0
	計	1,694	894	1,082	641	810	777

■延長保育事業

【概要】

保護者が仕事やその他の理由で、通常の保育時間を超えて子どもを預けることができるサービスです。通常の保育時間終了後、指定された時間帯において、保育施設が子どもを引き続き預かり、保育を提供します。この事業により、働く保護者はより柔軟に仕事を調整でき、子どもは安心して施設で過ごすことができます。

【実績】

- ・ 保育短時間認定を受けた保護者の必要に応じて延長保育を実施した。

【時間外保育事業の年度別量の計画と実績】

単位：人

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
計画	71	57	56	49	49	48
実績	64	43	48	50	47	56

■病児保育事業

【概要】

保護者が家庭の事情や仕事等で家庭において「病気」または「病気の回復期」にある生後8か月から小学校6年生までの児童を看ることが困難な場合、看護師と保育士が児童を預かり、保育します。

【実績】

- ・R6 年度から、ひとり親世帯の利用料を半額とし、利用が 1 件ありました。
- ・病児保育の看護師が園に出向き、啓発活動及び病児保育所の PR 活動を行いました。

【病児保育事業の年度別量の計画と実績】

単位：延べ人数

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
計画	62	164	164	200	200	200
実績	205	41	124	223	257	199

■放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

【概要】

小学校に通う児童が放課後や長期休暇中に安心して過ごせる場所を提供する事業です。主に共働き家庭やひとり親家庭の子どもを対象に、放課後の時間帯において、学習支援や遊びを通じて健全な成長を促進します。施設では、宿題や学習支援を行い、また、さまざまな遊びや活動を提供して、子どもたちが自分らしく過ごせる環境を整えています。

【実績】

- ・通年型クラブ 13 校区
[大井 3、大井第二 2、長島 3、東野 1、三郷 1、武並 1、恵那北 1、中野方 1、飯地 1、岩邑 2、山岡 1、明智 2、上矢作 1 計 20 クラブ]
- ・季節型クラブ 1 校区 [串原 計 1 クラブ]
- ・R2 年度に三郷小のクラブを小学校内に移転しました。
- ・R5 年度～長島学区に第 3 学童が開設し計 20 クラブになりました。
- ・利用料金の均一化の検討、実行しました。5 千円の保育料を目指しましたが、大きく乖離したクラブがあり急激な値上げができなかったため、統一はできませんでしたが、年々改善はしています。
- ・子ども子育て交付金で、指導員の処遇改善やキャリアアップ助成金が対象となり、賃金・手当等の補助を強化しました。

- ・R4年度から第3子以降の子どものいる世帯が利用する場合に利用料を免除。
- ・R6年度に長島学童の倉庫を改築し、受け入れ態勢の強化を行いました。
- ・待機児童は0人であり、運営についても順調にできています。

【放課後児童クラブの利用児童数の計画と実績】 単位：年間平均登録人数

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
計画	662	685	685	685	685	685
実績	506	455	474	555	552	613

■ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

【概要】

乳幼児や小学生などのこどもを持つ保護者を支援するため、こどもの預かりなどの援助を受けることを希望する方と当該援助を行うことを希望する方が会員となり、相互援助活動を行う事業です。この事業では、地域の「ファミリー・サポート・センター」を通じて、子どもの学校行事の参加や、放課後の見守り、送迎、急な用事の際の一時的な預かりなど、育児をサポートする活動を行います。親同士や地域の協力を通じて、安心して子育てができる環境を整え、地域全体で子育てを支援します。

【実績】

- ・R4年度～第3子以降の児童利用について利用料を免除し、R6年度～ひとり親世帯の児童利用について利用料を半額にしました。
- ・担い手の確保のため、援助会員への補助金をR6年度現在300円から増額することを検討しました。

【ファミリー・サポート・センター事業の年度別量の計画と実績】 単位：人

	H31	R2	R3	R4	R5	R6
計画	392	63	61	59	56	54
実績	38	33	17	27	5	101

■妊婦健康診査（発行枚数）

【概要】

妊娠中の女性が自身とお腹の赤ちゃんの健康状態を定期的に確認するための事業です。身体測定や血圧測定、血液検査、尿検査等で母子の健康状態を把握します。この健診が受診しやすいものとなるよう妊娠届時に受診券を発行し、経済的支援を行っています。受診券は妊娠期 14 枚、産後 2 枚を発行します。

【実績】

- ・受診券 1 人 16 枚交付（妊娠 16 枚 産後 2 枚）
- ・種類 ①初回券 1 枚、②基本健診 5 枚、③含超音波検査 4 枚、④含血算 1 枚、⑤含血算・血糖 1 枚、⑥含 GBS1 枚、⑦含クラミジア 1 枚、⑧産婦健診 2 枚

【妊婦健康診査の年度別量の計画と実績】

		H31	R2	R3	R4	R5	R6
人	計画	365	282	274	267	261	252
	実績	271	253	247	204	199	299
延べ回数	計画	5,110	3,948	3,836	3,738	3,654	3,528
	実績	3,715	3,499	3,448	2,816	2,758	2,129

※実績は妊娠期の健診のみ

■実費徴収に係る補足給付を行う事業

【概要】

福祉サービスや教育・保育サービスを利用する際に発生する実費負担について、経済的に困難な家庭を支援するために実施される補助事業です。利用者が支払う実費（例：保育料や医療費など）について、必要に応じて補足給付を行うことで、家庭の負担軽減を図ります。これにより、経済的な理由で必要なサービスを受けられない状況を防ぎ、全ての子どもや家庭が公平にサービスを利用できるよう支援します。

【実績】

- ・生活保護担当者と生活保護世帯について園で支援できる対象者についての協議を行った。

■多様な主体が新制度に参入することを促進するための事業

【概要】

子育て支援や福祉サービスを提供するために、民間企業、NPO、地域団体、教育機関など、さまざまな主体が積極的に参加できる環境を整備することを目的とした事業です。この事業では、参入に対する支援や助成、情報提供を行い、多様なサービス提供者が新制度に参画できるよう促進します。多様な主体が参入することで、サービスの質や選択肢が豊かになり、地域の子育て支援や福祉サービスが一層充実し、より多くの家庭に届けられるようになります。

【実績】

- 企業主導型保育事業参入者や認可外保育施設の認可に向けた支援などを引き続き行っています。
- 小規模保育事業所（C型）については、R4年度の開園から、継続支援しました。

令和6年度の子育て支援施策の取組実績

令和6年度から「経済的負担への支援」、「寄り添う支援」、「子育て環境支援」の3本の柱を掲げ、子育て支援パッケージとして新たな支援及び拡充に取り組んでいます。

施策の内容

(1) 経済的負担への支援

妊娠、出産、子育てまでのライフステージにおける切れ目のない包括的な支援

① 3歳以上児給食費無償化（幼児教育課）

- ・対象園 公立 14 園及び私立 3 園
- ・公立園 延べ人数 7,834 人
- ・私立園 延べ人数 1,654 人
- ・給食費 月 4,500 円/人
- ・支援額 42,696 千円



② 子育て応援入学祝金支給（子育て支援課）

- ・対象人数 715 人（小学生 314 人、中学生 401 人）
- ・支給額 10,000 円/人
- ・総支給額 7,150 千円



③ ひとり親世帯への病児保育、ファミリー・サポート・センター利用料の半額免除（子育て支援課）

- ・病児保育：利用者数 1 人
- ・ファミリー・サポート・センター：利用者数 2 人 延べ利用時間 48 時間



④ 明知鉄道利用の高校生通学費補助（子育て支援課）

- ・補助額 1 か月の通学定期代の 5 千円を超える額
- ・利用実人数 179 人
- ・補助金額 13,337 千円



⑤ おたふくかぜ予防接種費用一部助成（健幸推進課）

- ・助成額 3,000 円/人
- ・対象人数 1,285 人（1 歳から年長児）
- ・接種人数 165 人
- ・助成済額 495 千円

⑥ 子どもインフルエンザ予防接種費用一部助成を高校生世代への拡大
（健幸推進課）

- ・助成期間 令和6年10月1日から令和7年1月31日に接種した者
- ・助成額 1回目 3,240円 2回目 1,140円
- ・対象人数 5,989人（1歳から高校生世代）内高校生世代 1,305人
- ・接種人数 注射ワクチン 1回目 1,497人 2回目 911人（1～12歳）
経鼻ワクチン 66人（2歳から）
延べ 2,474人 内高校生世代 203人
- ・助成済額 6,103千円



（2）寄り添う支援

子育て世帯に配慮したきめ細やかな支援

① 見守り支援員によるベビー用品配達

（子育て支援課）

- ・内容 1歳までに3,000円相当のベビー用品を
2回宅配
- ・申請者数 158件
- ・宅配済件数 243件



② 訪問支援員による子育て世帯訪問支援（子育て支援課）

- ・利用世帯 1件、利用回数 17回
- ・委託先 恵那市社会福祉協議会

③ 産後サロンの開催（子育て支援課）

- ・開催場所 こども元気プラザ
- ・開催回数 月2回 延べ23回
- ・参加数 親子70組



（3）子育て環境支援

子育て世帯にやさしいまちづくり

① 公園の整備（地域公園）（都市整備課）

- ・地域公園整備 三郷町、武並町、中野方町、上矢作町

② 子育て支援策のPR（子育て支援課）

- ・7月開催のこどもフェスタにて、保護者へ子育て支援パッケージのチラシ配布
- ・子育て情報誌「えなっ宝子育てガイドブック」をリニューアルし、こども園等に配布及び市ウェブサイトへ掲載

